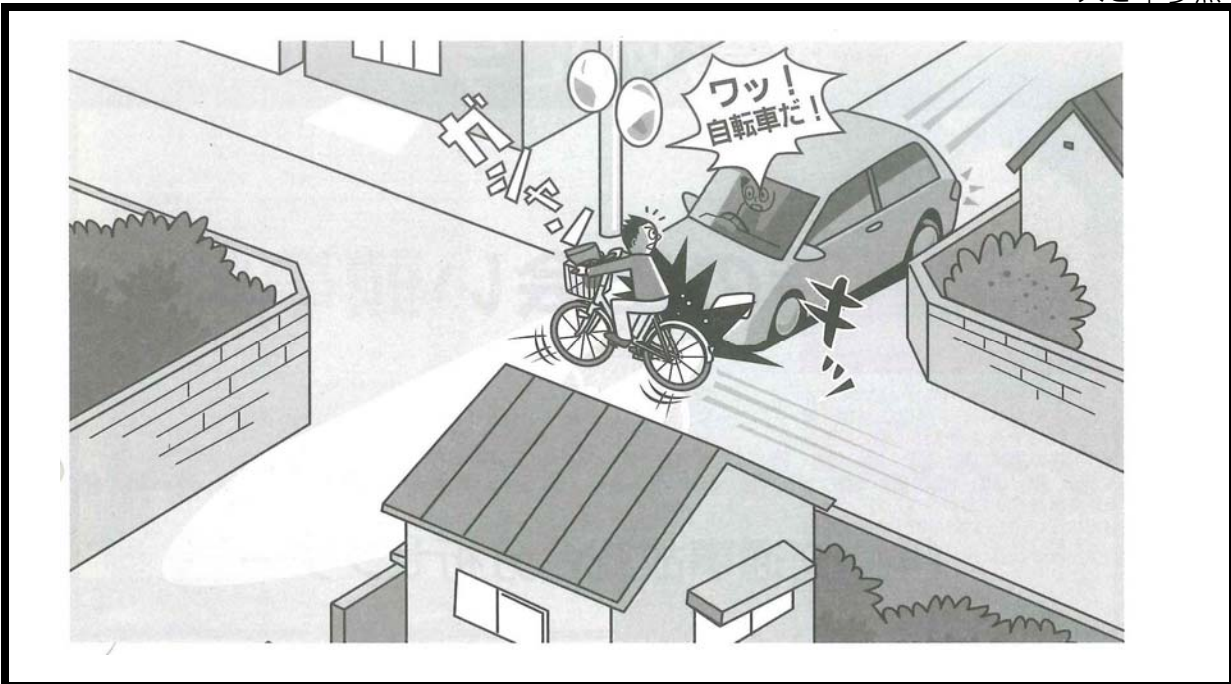


■事故の概況

人と車参照



事故類型：出会い頭

発生日時：薄暮時

当事者A：普通乗用車 20歳代 男性

当事者B：自転車 10歳代 男性

■ 事故の概要

Aは中央線のない住宅街を時速約60kmで走行していました。あと15分程で真っ暗になるだろうと思い、ヘッドライトを点灯しました。

Aは前方に交差点を発見したので、速度を時速約50kmまで落とし、交差点のカーブミラーで左側から進行してくる車両の有無を確認しました。ヘッドライトの光は見えなかったので、車両はきていないと判断し、そのままの速度で交差点を通過しようとしたとき、左側から突然Bが走り出てきたため、急ブレーキを踏みましたが間に合わず、B車の側面に衝突しました。

一方Bは、家路を急いでいました。薄暗くなっただけで暗いとは思わなかったため、ライトは点灯せずに交差点に進入したところ、右からきたA車と衝突しました。

■ 事故から学ぶ

この交差点には一時停止標識がありませんでしたが、だからといって速度を落とさずに交差点に進入して良いというわけではありません。交差点を進行する場合、左右から自転車や歩行者が飛び出してくることを予想して、減速や一時停止をしましょう。

また、カーブミラーのある交差点では、まずカーブミラーで様子を伺い、次にもう少し進んで再度安全確認をするのが確実な方法です。カーブミラーは凸面鏡であることや、表面が汚れている場合もあるので、最終的には肉眼で確認するようにしましょう。

一方、Bはライトを点灯していませんでしたが、前照灯の機能には自分の進行方向を明るくする他に、周囲の歩行者や車両に自車の存在を知らせる効果もあるので、薄暗くなったら自転車もライトを点灯しましょう。